

(公社) 日本地すべり学会関東支部 平成 29 年度第 2 回現地検討会 開催報告 —平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害 芹沢地区—

1. 実施概要

関東支部では、「実物を現場でじっくり見て・歩いて・さわってみる」ことをテーマに年 2 回の現地検討会を実施しています。今回は、国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所のご協力のもと、「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害」で発生した土石流災害現場において現地検討会を行いました。以下にその報告を記載します。

- (1) 開催日：平成 29 年 10 月 18 日（水）
- (2) 開催場所：栃木県日光市芹沢地区内
- (3) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (4) 協力：国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所
- (5) 参加人数：11 名（学会員 8 名，非会員 3 名，うち若手（35 歳以下）2 名）



写真-1 概要説明状況

2. 現地検討会の内容

芹沢地区では平成 27 年 9 月 8 日～10 日にかけて降り続いた豪雨（中三依雨量観測所（国土交通省），連続雨量 603mm，時間最大降雨 57mm）を起因として多量の土砂が流出し住民 2 名が負傷し，人家全壊 5 棟，半壊 1 棟の被害を受けました。土砂の流出は 7 溪流から確認されましたが，最も奥に位置する田茂沢では砂防堰堤が既に整備されており，流出した土砂を補足したため集落への被害はありませんでした。

検討会ではまず，国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所のご担当者様から被害の発生状況，緊急対応時の状況，対策工事などについてご紹介頂きました。続いて，参加者全員で現地踏査を行い，土砂の流出を未然に防止した透過型砂防堰堤や，新たに整備された透過型堰堤，土石流が発生した溪流沿いの崩壊地などを視察しました。

検討会中は参加者の間で流域内の地質や流出した土砂の発生源，透過型砂防堰堤の種類などに関して活発な意見が交わされました。



写真-2 崩壊地の視察状況

3. おわりに

関東支部では，今後も現場に密着した現地検討会を実施していく予定です。現地検討会の開催地などにご希望がございましたら，担当幹事までご意見をお寄せください。

最後に，本現地検討会の開催にあたり，国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所の関係者各位には大変お世話になりました。ここに記して，厚く御礼申し上げます。

参考文献

国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所(2017)：2015 年日光市芹沢地区土石流災害



写真-3 現地検討会参加者の集合写真

(関東支部幹事会 齊藤雅志・滝口 潤・林 一成)